

最新

お役立ち情報

～鹿児島県農業で活用いただきたい新品种・新技術～

5つの基本テーマ

- ① **A** かがしまブランドを育む技術開発
- ② **B** 収益力の高い農業経営の実現に向けた技術開発
- ③ **C** 新しい需要を切り拓き付加価値を高める技術開発
- ④ **D** 生産環境の変化に対応した農業技術の開発
- ⑤ **E** 安心・安全で環境にやさしい農業生産を支える技術開発

農業開発総合センターはA～Eの「5つの基本テーマ」の研究開発に重点的に取り組んでいます



①かがしまマンゴー ②ギブアブラバチ(天敵) ③茶のかがしま式防除装置 ④新しい黒豚系統種「クロサツマ2015」
⑤タイリクヒメハナカメムシ(天敵) ⑥LEDによるキク電照栽培 ⑦夏茶の付加価値向上 ⑧黒毛和種哺乳子牛の強化哺育

鹿児島県農業開発総合センター

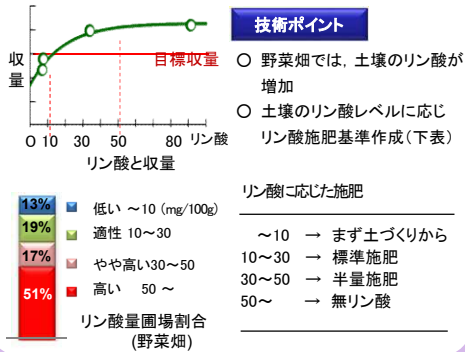
農業開発総合センター

検索



E 土壌診断でリン酸肥料の適正施肥

生産環境部



E 茶の農薬散布量を大幅削減！ かがしま式防除装置

茶業部



技術ポイント

- 微粒化した農薬の噴霧と送風を組合せ、少量の農薬で茶新芽の病害虫を防除
- 農薬散布を茶樹表層に絞り天敵類を保護・活用

効果

- 茶の農薬散布量を従来比約1/2~1/3以下へ削減
- 農薬経費や散布労力等を大幅に削減
- 天敵と共存した茶の生産体系を構築

E ピーマンにおけるIPM技術(待ち伏せ型防除)と露地作物への応用

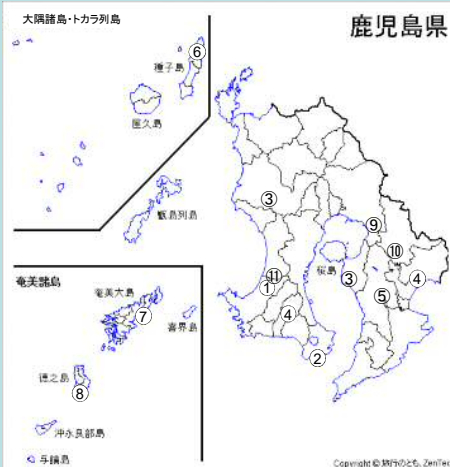
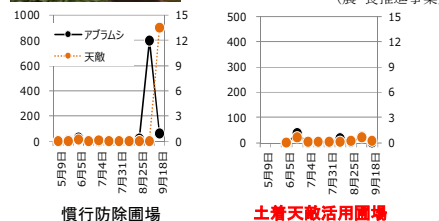
生産環境部



露地作物への展開



- 地域の土着天敵に餌や蜜源を供給する「天敵温存植物」を用い、天敵の来遅れを回避
- 土着天敵を防除に活用するモデルをオクラで確立



農業開発総合センター

- | | |
|---|---------------------|
| ① 管理部
企画調整部
園芸作物部
生産環境部
(南さつま市) | ⑤ 大隅支場
(鹿屋市) |
| ② 花き部
(指宿市) | ⑥ 熊毛支場
(西之表市) |
| ③ 果樹部
(垂水市)
果樹部北薩分場
(薩摩川内市) | ⑦ 大島支場
(奄美市) |
| ④ 茶業部
(南九州市)
茶業部大隅分場
(志布志市) | ⑧ 徳之島支場
(大島郡伊仙町) |
| | ⑨ 畜産試験場
(霧島市) |
| | ⑩ 肉用牛改良研究所
(曾於市) |
| | ⑪ 農業大学校
(日置市) |

【お問い合わせ】 農業開発総合センター企画調整部 (TEL 099-245-1118) 最寄りの支庁・地域振興局の普及担当課(農政普及課など)

A 高温登熟性に優れた早期水稲「なつほのか」 園芸作物部



特性

- 高温登熟性に優れ、高品質良食味(タンパク含有率が低い)
- コシヒカリに比べて、粒が大きく、2割多収、収穫は10日遅い



栽培のポイント

- いもち病発生に注意
- 早期落水しない

適応地域

- 早期栽培地帯

A 新たな黒豚系統豚「クロサツマ2015」 畜産試験場



特徴 県内黒豚を改良

- 背脂肪は薄く、ロースは大きい
- 離乳時子豚総体重も増加
- 体積に富み、管囲も太く、乳器も改良

主要性状別	改良前	改良後
背脂肪の厚さ(cm)	1.9	→ 1.6
ロース断面積(cm ²)	24.4	→ 28.6
離乳時子豚総体重(kg)	46.8	→ 60.6

A 低温開花性に優れた秋輪ギク新品種「立神」「冬馬」 花き部



「立神」(りゅうじん)

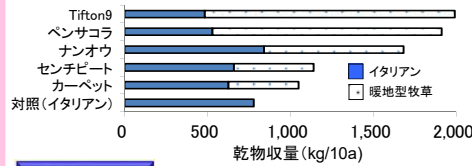
- 低温開花性があり、省エネ栽培が可能
- 11~4月出しまで安定して生産できる
- 花にボリュームあり



「冬馬」(とうま)

- 低温開花性があり、省エネ栽培が可能
- 特に低温期で草丈の伸び、花の大きさ、水揚げ花持ちが優れる
- 低温期に栽培期間の短縮が期待できる

B 不耕起播種機を用いた追播による増収効果 畜産試験場



技術ポイント
 ○ 不耕起播種機を用いて、暖地型永年牧草地にイタリアンライグラスを追播

- 効果** ○ 乾物収量484~840kg/10aの増収

B 小型半履帯トラクタによるサトウキビ管理技術体系 徳之島支場



心土破砕耕(サブソイラ) 中耕(ロータリ)

技術ポイント 従来の車輪式と比較すると

- けん引力が強く、心土破砕耕が可能
- ロータリ耕時の機体の振動が少ない

C 夏茶の付加価値向上のための生葉低温保管システム 茶業部

技術ポイント
 ○ 初期冷却装置: 水の気化熱で生葉の温度が速やかに低下
 ○ 生葉冷却保管装置: 低温(15~20℃)で維持
 ○ 生葉管理に必要なデータを収集しながら、温度、風量、生葉循環搅拌等の制御が可能

効果
 ○ 夏茶臭低減、鮮度保持(葉傷み抑制)、香味強化、色沢向上など茶種ごとに活用可能
 ○ 低温保管でリナロールなどの芳香成分が増加

C キクの日持ちを改善する前処理剤の効果的な使用方法 花き部



技術ポイント ○ 5,000~10,000倍液で3~20時間前処理
 短時間処理 5,000倍で1~3時間
 長時間処理 10,000倍で24時間以内

効果
 ○ 常温処理でも効果が大きく、高温時期の水揚げ日持ちが向上
 ○ 水揚げの悪い品種でも蕾が順調に開花

B 燃費削減となる設置が簡易な株元加温技術 園芸作物部



技術ポイント

- かん水チューブや枝ダクトを配置し、定植前にマルチ設置
- 加温時にマルチをバインダー紐で持ち上げる(三角テント状)
- 施設内の暖房温度は、通常より2℃低い16℃に設定しても(トンネル内は18~20℃になり)、慣行と同等の収量で燃費は削減

適応地域

- 県内ピーマン類、ナス産地

B 青果用サツマイモ「べにはるか」の優良系統「べにはるか1号」を選抜 大隅支場



べにはるか1号 自家種いも利用(種いも継代)

特徴

- いもの形状は紡錘形で、揃いが良い
- 皮色が濃く、曲がりやくびれの発生が少なく、外観が良い
- 肉色は種いも継代と同じ黄白で、ブリックスも同程度に高い
- 上いも収量やA品収量が多い
- 一個重もやや重い

D 地球温暖化に対応したブドウ着色向上技術 果樹部北薩分場



技術ポイント
 環状剥皮 満開30~35日後に主幹部を2cm幅で剥皮処理 + シアナミド液剤散布 着色期、6月中旬

- 留意点**
 ○ 新梢が短いなど樹勢が弱い樹には行わない
 ○ 着果は主枝1mあたり6房

適応地域 「ピオーネ」等で8月出荷の作型

D 簡易被覆を利用した若掘りゴボウ(2~5月どり)栽培技術 大隅支場



技術ポイント
 ○ 被覆は10月~4月中旬まで
 ○ 不織布の直がけて保温作型

適応地域 ○ 県本土平坦地